

令和5年度一般廃棄物処理実施計画

第1 一般廃棄物処理の基本的事項

1 処理区域

浦幌町全域

2 計画期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日

3 処理計画量

(1) ごみ

項目	処理計画量
燃やせるごみ	556 t
燃やせないごみ	143 t
粗大ごみ	22 t
資源ごみ	292 t
有害ごみ	1 t
小型家電リサイクル品	2 t
合計	1,016 t

第2 一般廃棄物発生・排出抑制のための方策

1 一般廃棄物の排出抑制及び資源化等の促進の方策

(1) 排出抑制の促進

広報・啓発事業	ごみ分別パンフレットの配布、活用
	ごみの分別、リサイクルなど広報紙による啓発
	ホームページに、ごみ分別パンフレットを電子媒体で情報提供
リサイクルステーション	びん・缶・ペットボトル・紙類などを含めた資源物等を無料で持ち込める回収拠点として、計40か所を運営する。

(2) 資源化等の促進

品目	回収場所
びん・缶・ペットボトル	リサイクルステーション
紙類	リサイクルステーション
容器包装プラスチック	リサイクルステーション
廃食油	役場、保健福祉センター、スクールバス詰所、 コスミックホール、公民館（上浦幌、吉野、厚内）
小型家電	役場、上浦幌支所
古布	役場、上浦幌支所

2 一般廃棄物の種類（分別区分）並びに収集及び受入方法等

(1) ごみ

種類	収集方法	排出方法	手数料
燃やせるごみ	毎週 （一部月 2～3 回）	指定ごみ袋に入れて排出	有料
燃やせないごみ	月 2 回 （一部月 1 回）	指定ごみ袋に入れて排出	有料
有害ごみ	月 2 回 （一部月 1 回）	透明袋に入れて「有害ごみ」と書く	無料
粗大ごみ	月 1 回	指定シールを張って排出 （事前に申し込みが必要）	有料
資源ごみ	毎週 （一部月 1～2 回）	リサイクルステーションへ 排出	無料

(2) 収集しない日

土曜日、日曜日、海の日、スポーツの日、年末・年始

(3) 収集開始時刻

8 時 3 0 分

3 町で収集しないもの

(1) 家電リサイクル法による対象品目

エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機

(2) パソコンディスプレイ

液晶、ブラウン管型

(3) リサイクル・処理ルートが別にあるもの

廃油、バッテリー、タイヤ、車の部品、自動車、オートバイ、スクーター、消火器、プロパンガスボンベ、農薬、ピアノ、ウォーターベッド、充電式電池、ボタン電池

(4) 事業系ごみ

産業廃棄物、事業系一般廃棄物

(5) その他

ペットの死体、石、砂利、砂、土、在宅医療器具、一時的な多量のごみ

第3 処理施設

1 焼却処理施設

名称	くりりんセンター
所在地	帯広市西24条北4丁目1番地5
処理能力	330 t / 日
処理対象物	可燃ごみ、破碎選別処理後の可燃ごみ
処理方式	全連続燃焼式ストーカ

2 破碎処理施設

名称	くりりんセンター
所在地	帯広市西24条北4丁目1番地5
処理能力	110 t / 日 (5 h)
処理対象物	不燃ごみ、粗大ごみ
処理方式	破碎・選別方式

3 リサイクルセンター

名称	浦幌町リサイクルセンター
所在地	浦幌町字統太49番地1
処理能力	14 t / 日
処理対象物	家庭系の資源ごみ
処理方式	選別・圧縮・梱包方式

4 最終処分場

名称	うめ〜るセンター美加登
所在地	池田町字美加登279番地10
埋立面積	27,029 m ²
埋立容積	331,200 m ³
浸出水処理方式	脚浸透膜処理方式
浸出水処理能力	25 m ³ / 日

第4 生活排水処理実施計画

1 処理区域

浦幌町全域

2 計画期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日

3 処理計画量

項目		処理計画量
し尿及び浄化槽汚泥排出量		1,642 kl
内訳	し尿	996 kl
	浄化槽汚泥	646 kl

4 生活排水処理の目標

年 度	令和 5 年度
公共下水道人口	2, 756 人
集落排水処理施設人口	0 人
合併処理浄化槽人口 (単独浄化槽人口を含む)	854 人
非水洗化(し尿収集)人口	731 人

5 種類及び収集形態

(1) し尿

委託業者が戸別収集により収集し、処理施設に搬入

(2) 浄化槽汚泥統

一般廃棄物処理業(浄化槽汚泥等の収集・運搬)の許可業者が収集し、処理施設に搬入

(3) し尿及び浄化槽汚泥等処理施設

名称	十勝川浄化センター
所在地	帯広市西 1 8 条北 3 丁目 1 3 番地
処理能力	106,000 m ³ /日
処理方法	標準活性汚泥法
排除方法	分流式